



# 株主通信

第118期 報告書  
2014.4.1 >>>> 2015.3.31

# 鉄から広がる無限大“∞”

当社の製品は私たちのくらしの身近なところで活躍しています。

“鉄”とともに歩み続けてきた東洋鋼鈑は、これまでさまざまな製品を世に送り出してきました。今日ではその伝統で培った、圧延、表面処理、ラミネートなどの技術をもとに“鉄”から“非鉄”や“樹脂”へと自らのフィールドを拡大しています。



日本で民間初のぶりきメーカー

## その他材料

- 梱包資材用帯鋼
- 機械器具
- 硬質合金



バルブ自動開閉器(ベストルク)

## 缶用材料

- ラミネート鋼板
- ぶりき
- ティンフリースチール



食缶・インキ缶(ぶりき)

## 電気・電子部品材料 自動車・機械部品材料

- ニッケルめっき鋼板
- 電気亜鉛めっき鋼板
- 冷延鋼板



ハイブリッドカー用電池部品(角孔芯体材)

## 機能材料

- 磁気ディスク用アルミ基板
- 光学用機能フィルム



液晶テレビ、スマートフォン向けフィルム  
(光学用機能フィルム)

## 建築・家電用材料

- 樹脂化粧鋼板
- 銀鏡めっき金属板



ユニットバス壁材(ピニトップ)

# 最終年度を迎える中期経営計画 収益体質の更なる強化に挑みます。



代表取締役社長

## 隅田博彦

第118期報告書をお届けするにあたり、  
代表取締役社長 隅田博彦へのインタビューを通して  
当社グループの現状と今後の動向をご説明いたします。

Q

2015年3月期の経営成績について  
ご解説ください。

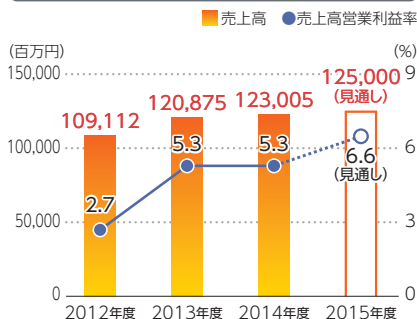
A

**2期連続の増収増益を達成しました。**

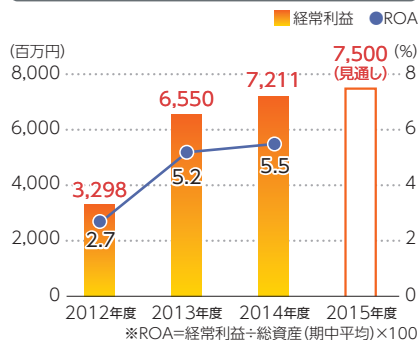
国内鉄鋼市場では一部に需要の落ち込みがみられたものの、国内外への積極的な拡販に努めたほか、全社的なコスト削減による収益力の強化などを図りました。その結果、連結経営成績は売上高が1,230億5百万円(前期比1.8%増)、営業利益が65億63百万円(前期比1.7%増)、経常利益が72億11百万円(前期比10.1%増)、当期純利益が49億77百万円(前期比8.0%増)と増収増益となりました。

主力の鋼板関連事業では、電気・電子部品向け、自動車・産業機械部品向けが好調に推移したものの、缶コーヒーの販売不振により缶用材料の需要が大きく減退したほか、冷

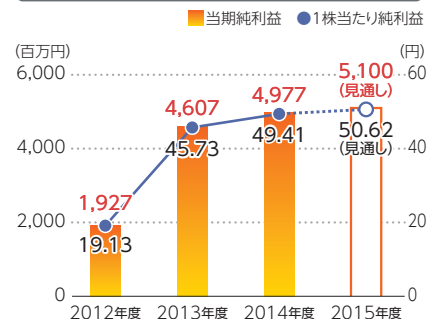
連結売上高／売上高営業利益率



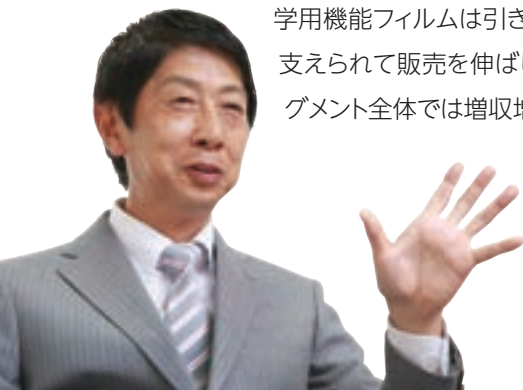
連結経常利益／ROA



連結当期純利益／1株当たり純利益



蔵庫の扉がガラス素材にシフトした影響で、樹脂化粧鋼板の販売が低迷し、当事業セグメントの売上高は前期と比べ減少、営業利益は前期比で3割近く落ち込みました。一方、機能材料関連事業において、磁気ディスク用アルミ基板は、品質要求の厳しい製品の生産比率が高くなり、歩留まりおよび生産性が低下したことで前期に比べ販売数量が減少しましたが、円安の効果によって増収となりました。光学用機能フィルムは引き続き堅調な需要に支えられて販売を伸ばしており、当事業セグメント全体では増収増益となりました。

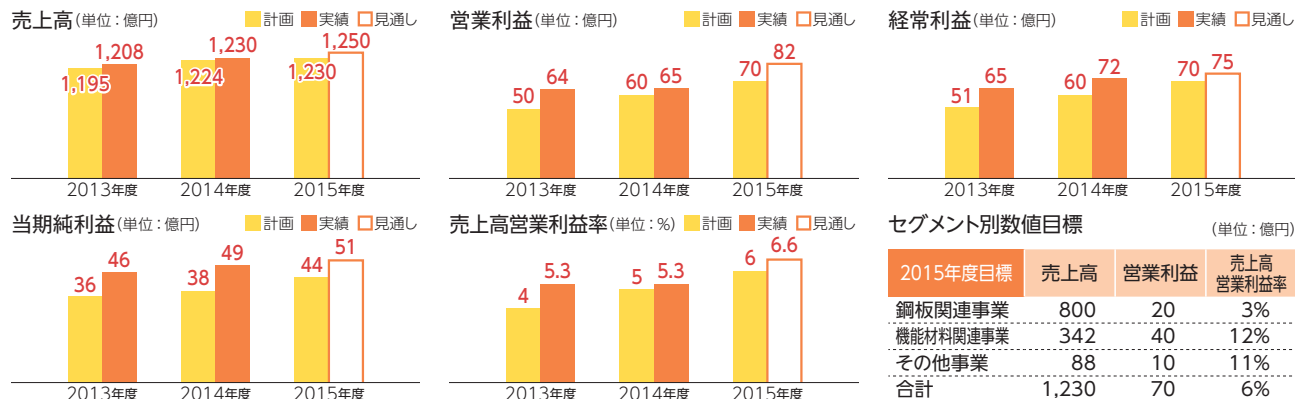


**Q** 中期経営計画の状況と、2015年度の事業計画についてお聞かせください。

**A** 中期経営計画の最終年度となる2015年度も、増収増益を見込みます。

現在取り組んでいる中期経営計画「TK WORKS Beginning」の進捗については、初年度に続き2年目の当期も収益目標を無事にクリアし、最終年度も今のところ目標を達成できる見通しとなっております。ただし、2年目の成績は円安効果に助けられた面もあり、決して満足できる内容ではありませんでした。缶用材料の需要減に対応するため海外への拡販の推進や、機能材料の生産性向上などに引き続き取り組むとともに、2016年後半に稼働開始予定のトルコ合弁会社<トスヤル・トーヨー社>の工場建設を進めるなど、取り組むべき課題を一つひとつ解決していくことで、収益体質を更に強化しなければなりません。新規事業のDNAチップに関しては、薬事申請を済ませ、早期事業

### TK WORKS Beginning 3ヶ年損益目標(連結)



化の実現に向けて着々と準備を進めておりますので、ぜひご期待いただければと存じます。

2015年度も事業環境に大きな変化はないと考えておりますが、磁気ディスク用アルミ基板や光学用機能フィルムの増産効果が発揮されることなどから、業績は引き続き堅調に推移する見通しです。連結業績については、売上高1,250億円(前期比1.6%増)、営業利益82億円(前期比24.9%増)、経常利益75億円(前期比4.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益51億円(前期比2.5%増)と、増収増益を予想しております。

**Q** 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

**A** 「TK WORKS Beginning」は総仕上げの段階に。次期中期経営計画にもご期待ください。

中期経営計画「TK WORKS Beginning」は総仕上げ

に入りました。2015年度は次期中期経営計画へのスムーズな移行に備える重要な一年であり、安定的な収益を確保する仕掛けづくりに引き続き取り組んでまいります。また、次期中期経営計画では、現在検討している案件について具体的にお示ししたいと考えておりますのでご期待ください。

当期末の配当金につきましては、利益水準を勘案した結果、1株当たり5円とさせていただきます。中間配当5円と合わせ、年間配当金は前期と同額の10円となります。2015年度につきましては、中間と期末でそれぞれ6円ずつの、1株当たり12円の配当を計画しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## TK WORKS Beginning 事業戦略

### 事業戦略

既存事業の  
基盤強化

グローバル市場への  
積極的参入

新規事業の  
創出

### 鋼板関連事業

- 生産プロセスの改革による更なる原価率の低減
- マーケティング活動を強化し、海外市場を積極的に開拓
- 固有技術の集積化を図り、新規製品を具現化

### 各セグメント別の戦略

#### 機能材料関連事業

##### 磁気ディスク事業

- 省プロセス化技術開発による生産量拡大と原価率低減
- 顧客との戦略的アライアンス構築による市場シェア拡大

##### フィルム事業

- ディスプレイ向け光学フィルム事業の拡大
- フィルム高付加価値化による事業領域拡大

#### その他事業

##### 機械事業

- 新エネルギー関連分野への新規展開
- エンジニアリング事業の立上げ

特集

# 株主さまの声

第118期中間報告書において、株主の皆さまにアンケートをお願いしましたところ、202名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。一部ではございますが、株主の皆さまからのご意見・ご感想を紹介させていただきます。



## ●引き続き、CSR活動への取り組みを大切にしてください。

(大阪府30代男性)

▶▶▶ 第118期中間報告書で、当社のCSR活動への取り組みについて、ご紹介させていただきました。当社の工場の所在地である山口県下松市が主催する次世代育成事業への協力や、本社における各種展示会への出展など、今後もステークホルダーの皆さまに対して継続的にコミュニケーションを図ってまいります。

## ●トルコの事業について知りたい。(東京都70代女性)

▶▶▶ 2015年1月、トルコの事業会社であるトサル・トヨー社の工場着工を祝う地鎮祭が、パートナーであるトシュエリック社のオスマニエ工場敷地内において執り行われました。当地鎮祭は、トルコ政府よりアフメト・ダウトオール首相をはじめ、多くの政府・自治体関係者が参席されたほか、トルコ企業・日本企業を中心に各国より1,000名を超える来賓をお迎えし大変盛大に行われ、トルコ事業にとって大きな一歩となりました。現地では既に建設工事が進んでおり、2016年後半の稼働に向け取り組んでまいります。

### ●新工場の概要

- 生産品目** 冷延鋼板、錫めっき鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、塗装鋼板
- 生産能力** 73万t/年
- 主要設備** 酸洗/冷延、焼鈍、電気錫めっき、溶融亜鉛めっき、塗装等
- 立地** トルコ共和国オスマニエ県オスマニエ工業団地



握手する隅田社長とダウトオール首相



建設中の風景

展示会の様子



次世代育成事業(ミュージカル鑑賞)

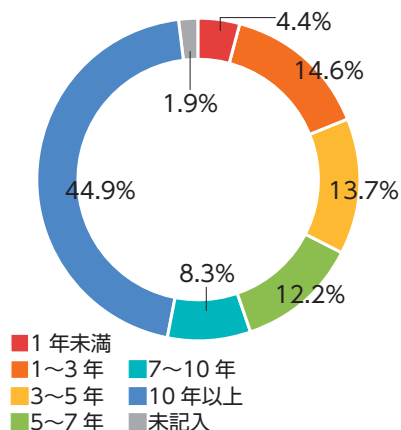
- 個人投資家向けの説明会を開催してほしい。(神奈川県30代男性)
- 今後もアンケートを通じて株主の意見を幅広く集めていただけますと幸いです。(香川県20代男性)



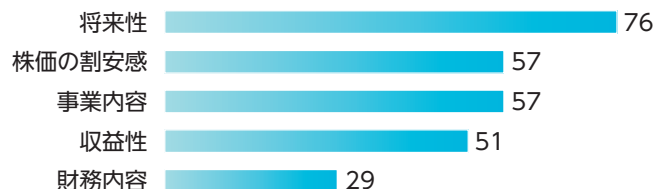
▶▶▶ 個人投資家向けの説明会につきましては、昨年の6月と11月には大和証券株式会社様の徳山支店(山口県)、吉祥寺支店で、今年の6月には名古屋駅前支店で実施いたしました。当社はこれからも、IR活動の強化を図り、株主・投資家の皆さまとの対話を促進してまいります。

## アンケート集計結果

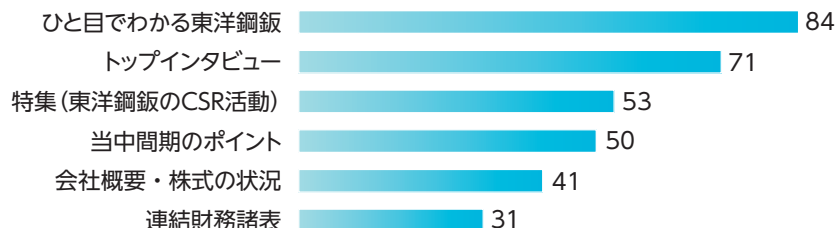
### ● 当社株式の保有年数



### ● 当社の株式を購入された理由はなんですか? (複数回答可)



### ● 第118期中間報告書で興味を持った記事はどれでしょうか? (複数回答可)



## 当期のポイント

POINT

- **売上高** 123,005百万円  
(前期比 1.8%増)
- **営業利益** 6,563百万円  
(前期比 1.7%増)
- **経常利益** 7,211百万円  
(前期比 10.1%増)
- **当期純利益** 4,977百万円  
(前期比 8.0%増)

**POINT ①** 鋼板関連事業は、缶用材料の需要が減少したことなどにより、減収減益。

**POINT ②** 機能材料関連事業は、光学用機能フィルムの販売数量の増加などにより、増収増益。

**POINT ③** その他事業は、機械器具の販売数量の増加などにより、増収増益。

## セグメント情報

SEGMENT INFORMATION

### 鋼板関連事業

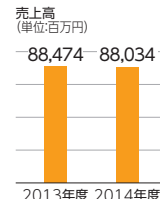


事業内容

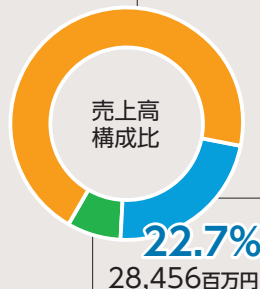
缶用材料、電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け材料の製造および販売

事業の概況

- 缶用材料は、缶コーヒーの販売不振の影響を受けて低迷し、減収。
- 電気・電子部品向けは、車載用電池用途の販売数量の増加に加え、民生用電池用途の販売数量が回復し、増収。
- 自動車・産業機械部品向けは、ベアリングシール用途やガスケット用途などが好調に推移し、増収。
- 建築・家電向けは、ユニットバス内装材や建築用外装材の販売数量は増加したものの、冷蔵庫扉材が低迷し、前期並み。



70.0%  
88,034百万円



### 機能材料関連事業

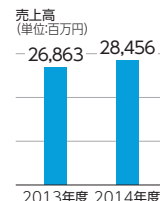


事業内容

磁気ディスク用アルミ基板、光学用機能フィルムの製造および販売

事業の概況

- 磁気ディスク用アルミ基板は、販売数量は減少したものの、為替の影響により、増収。
- 光学用機能フィルムは、堅調な需要により販売数量が増加し、増収。



### その他事業

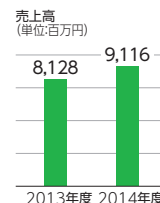


事業内容

梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金の製造および販売

事業の概況

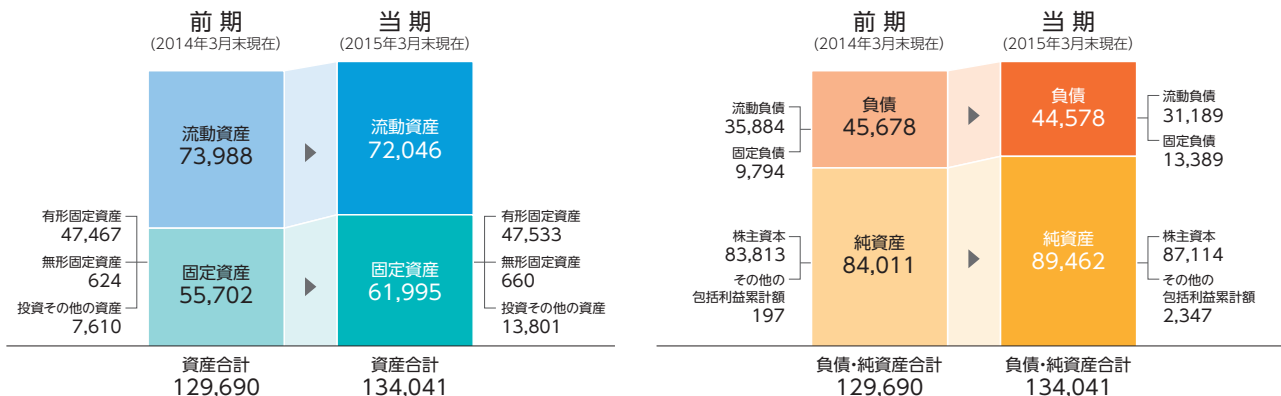
- 梱包資材用帯鋼は、下期に需要が低迷したことにより、減収。
- 機械器具は、コイル結束装置の本体および部品の販売数量の増加などにより、増収。
- 硬質合金は、射出成形機部品の販売数量の増加により、増収。



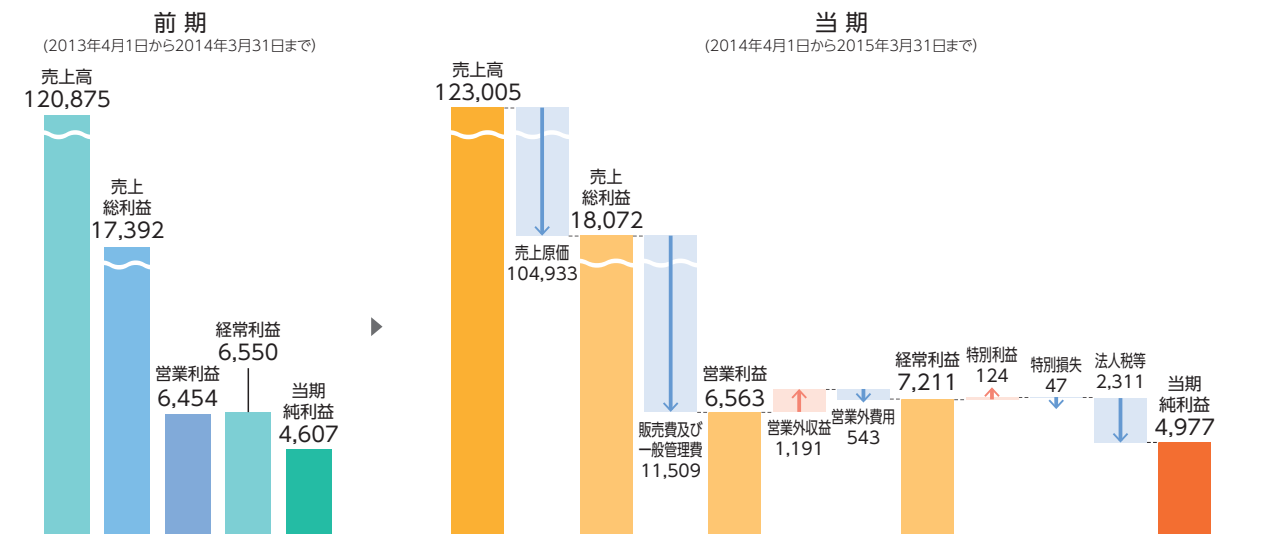
※各セグメントの売上高はセグメント間の取引による金額を含んでおります。



## 財務状況 (単位: 百万円)



## 経営成績 (単位: 百万円)



## • TOPICS •

# KYテクノロジーの「サイクルラック」が TVで紹介されました!



**K**Yテクノロジーのサイクルラックが、2014年10月に放送されたテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」の、斬新な商品や技術を紹介するコーナー「トレンドたまご」で紹介されました。

### ● サイクルラック

当社関係会社のKYテクノロジー(株)が取扱いをしている、日本初の自動昇降機能付き自転車ラックです。

### ● 特徴

エアーコンプレッサーを使用し、ボタン1つで楽に昇降でき、女性やお年寄り、お子さまでも安心してご利用いただけます。また、コイルバネ式、電動自転車対応型など、お客さまの様々なニーズに沿った製品を展開しております。



東洋鋼鈑の樹脂化粧鋼板「ビニトップ」を素材としたサイクルハウス(自転車置場)も販売しております。

詳しい内容はHPをご覧ください。

**KYテクノロジー株式会社** <http://www.ky-t.co.jp>

### お知らせ

### 単元株式数の引き下げについて

2015年3月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

# 会社概要／株式の状況

# CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION

(2015年3月31日現在)

## 会社の概況

商号 東洋鋼鋳株式会社  
本社 東京都千代田区四番町2番地12  
設立 1934年4月11日  
資本金 50億4,000万円  
従業員数 2,194名(連結)  
事業所 本社(東京都)、大阪支店、仙台営業所、名古屋営業所、  
広島営業所、福岡営業所、技術研究所(山口県下松市)、  
下松事業所(山口県下松市)

## 役員 (2015年6月24日現在)

取締役会長	田中厚夫	専務執行役員	坂本信夫
代表取締役社長	隅田博彦	執行役員	田辺敏幸
取締役専務執行役員	吉武潤一郎	執行役員	藤井孝司
取締役専務執行役員	宮地正文	執行役員	森賀俊典
取締役	林芳郎	執行役員	長谷川浩
取締役	染谷良	執行役員	塩道行正
取締役	大塚一男	執行役員	大楽高嗣
常勤監査役	浪岡貞之		
監査役	宮本光晴		
監査役	大川邦夫		
監査役	冲中一郎		

## 東洋鋼鋳グループ

国内 鋼鋳商事株式会社  
鋼鋳工業株式会社  
KYテクノロジー株式会社  
東洋パックス株式会社  
共同海運株式会社  
下松運輸株式会社  
東洋パートナー株式会社

海外 TOYO-MEMORY TECHNOLOGY SDN.BHD. (マレーシア)  
上海東洋鋼鋳商貿有限公司(中国)  
湖南東洋利徳材料科技有限公司(中国)  
江蘇東洋鋼鋳新材料科技有限公司(中国)  
韓国鋼鋳工業株式会社(韓国)  
Kanagata (Thailand) Co.,Ltd.(タイ)  
TOSYALI TOYO CELIK ANONIM SIRKETI(トルコ)

## 株式の状況

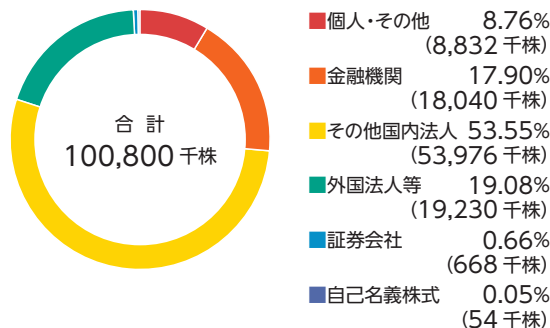
発行可能株式総数 403,200,000株  
発行済株式の総数 100,800,000株  
株主数 2,963名

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋製罐グループホールディングス株式会社	47,885	47.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,728	3.70
株式会社三井住友銀行	2,980	2.96
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,189	2.17
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,071	2.06
公益財団法人 東洋食品研究所	2,055	2.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,002	1.99
株式会社淀川製鋼所	1,429	1.42
株式会社山口銀行	1,316	1.31
新日鐵住金株式会社	1,200	1.19

(注) 1. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。  
2. 千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネット) ホームページURL	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/ agency/index.html</a>
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.toyokohan.co.jp">http://www.toyokohan.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## お問合せ

証券口座で株式を保有している株主さま	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
特別口座で株式を保有している株主さま	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお問合せください。

# 東洋鋼鋳株式会社

〒102-8447 東京都千代田区四番町2番地12  
電話 (03)5211-6211(代表)  
ホームページURL [tkworks.jp](http://tkworks.jp)



本冊子は環境保全のため  
植物油インキで印刷しています。



## ホームページのご案内

### コーポレートサイト



当社のホームページでは、当社の製品を紹介する「身近な東洋鋼鋳」をはじめ、投資家の皆さま向けのIR情報など、さまざまな情報を掲載しております。

[tkworks.jp](http://tkworks.jp)

### IRサイト



IRサイトでは適時開示情報をはじめ、決算短信などの各種IR関連資料やIRトピックス、株価情報など最新の情報を提供しております。

[http://www.toyokohan.co.jp/  
ja/ir/index.html](http://www.toyokohan.co.jp/ja/ir/index.html)